

技術環境の変化に対応できる工務研究会を目指して

長野県技術アドバイザー

技 術 士 小 池 良 介

1. 信州工務研究会設立の動機

(1) 長野県製糸業界と技術研究会の変遷

(2) 製糸技術を取り巻く環境の変転

(3) 工務研究会設立の必要性とその経緯

2. 工務研究会の実情と効果

(1) 研究会への参加企業・機関と運営

(2) 実施したテーマと情報交換の内容

(3) 予想される効果

3. 効果を高める今後の方向付け

- (1) 埋没していく固有技術、突発的技術、将来予測技術への留意
- (2) やる気の喚起、やる腕の付与（質疑、意見交換、人間関係）
- (3) T P Mの推進による設備に強い人材
- (4) 洞察力の高揚
- (5) 自己実現の助長と協力体制
- (6) これからの製糸経営へ大きく寄与できるコミュニケーションの場